

- と風圧, 鉄道技研報告, 272, 1-49.
 塩谷正雄・林田千秋, 1963: 築堤周りの風, 鉄道技研速報, No. 63-10, 1-26.
 Shiotani, M. and Y. Iwatani, 1979: Gust structures over flat terrains and their modification by a barrier, Proc. 5th Intern Conf. Wind Eng., Pergamon Press, 203-214.
 塩谷正雄, 1981: 強風の性質, 開発社, 118-149.
 Teunissen, H.W., 1983: Wind-tunnel and full-scale comparison of mean wind flow over an

- isolated low hill, J. Wind Eng. Ind. Aerodyn., 15, 271-286.
 鉄道技研防災研究室・秋田鉄道管理局施設部, 1960: 吹雪防止人工樹列生垣林現地実験, 鉄道技研速報, No. 60-257, 1-48.
 Wilson, J.D., 1985: Numerical studies of flow through a windbreak, J. Wind Eng. Ind. Aerodyn., 21, 119-154.
 Yoshino, M., 1975: Climate in a small area, Univ. of Tokyo Press, 183-302.

「地域防災国際研究・研修セミナー」のお知らせ

会期 昭和62年10月13日(火)~23日(金)
 会場 東京: 日本学術会議講堂(13日~17日)
 名古屋: 国際連合地域開発センター

(19日~23日)

趣旨: 地域開発計画と防災の枠組みの中で, 防災体制, 緊急体制, 復旧・再建の枠組みから, 先進国の研究成果の報告, 開発途上国の事例研究の報告および IDHR (国際防災旬年) に関する報告による情報交流や提言, 意見交換を行い, 今後の国際的な調査研究の一助とすると共に, 開発途上国における災害に強い地域づくり, 安全な居住環境づくりを進めて行くための地域防災計画の立案および実施に必要な人材に寄与することを基本目的とする。

主題:

- ① 災害防備体制: 災害防備体制への研究成果の反映, 防災計画の事前評価, 防災教育, 防災活動
- ② 緊急体制: 情報伝達(発災前, 発災後), 緊急避難, 救援・救急・援助

- ③ 復旧・再建: 復旧・再建を考慮した防災計画, 復旧・再建時の課題(応急復旧, 必要施設整備, 復旧・再建資金)

- ④ IDHR (国際防災旬年)

- ⑤ 防災研究の現状と課題

参加予定者: 海外より約20名, 日本国内より約200名程度を予定している。特に海外からは, 米国より6名(E.L. Quarantelli, D.S. Mileti 等), アジアより7名(インド, フィリピン, トルコ, 中国, マレーシア, インドネシア, タイ), 中南米より3名(メキシコ, コロンビア, ベルー), 国連機関より5名の参加を予定している。

問い合わせ先:

〒450 名古屋市中村区那古野 1-47-1

国際連合地域開発センター

地域防災国際研究・研修セミナー

(担当 和泉, 国技)

TEL 052-561-9378

月例会「長期予報と大気大循環」のお知らせ

標記の例会を次の通り開催しますのでご参加ください。

なお, 今回はシンポジウム形式で行い, 講演の公募はいたしません。

日時: 1987年10月2日(金) 13:30~17:30

場所: 気象庁 第一会議室(5F)

テーマ: 「1986/87 ENSO」について

- ① 海況の特徴
- ② 「なつしま」の観測成果
- ③ 全球大気の特徴
- ④ 世界の異常天候
- ⑤ 1987年夏

の長期予報における ENSO の評価 ⑥ 特別講演「ENSO on set の予測」

(九州大学・山形俊男)

以上, 今回の ENSO について実況監視結果の報告と講演, 並びに討論を行います。

問合せ先: 気象庁長期予報課 能登正之・栗原弘一

(TEL 03-212-8341 内線 329)